



第20回 誣訪支部 真道 聡 支部長

誣訪支部支部長の真道聡です。

支部長リレーエッセイの順番が回ってきて、改めて今までの、各支部長方のエッセイを読み返しましたが、働くために働いて、生きるためだけに生きている、私には素敵な話がおといてきませんでした。

つまましては最近の世の中で私が切なく思うことをかくことにしました。

「寛容」という言葉が薄れてきた気がしませんか？

自分の意志や考えを持つことは良いのですが、価値観や考え方が違う者を排除する言動が、余りにとびとしい気がします。昨今ネットや SNS で見ず知らずの者への誹謗中傷が簡単にできる時代の為か、自分の正義を振りかざし押しけることに快楽を求める風潮が横行し他者を許すことが出来ない人が多々見受けられます。自分の家族友人さえ良ければそれ以外はどうなっても構わないとの身勝手な考え方は、長きに渡り組合運動に携わってきた私の真逆の考え方です。人として好きや嫌い是有るものですが、私自身も難しいのですが、皆が「寛容」の気持ちで否定からでなく、相手に対して興味関心を持ち、少しづつ理解をしようと試みる事が出来たら少し違う世界になるかなあと日々思っています。

説教じみたつまらない話で申し訳ありませんが、こちら読んでいただいた方も「寛容」の気持ちでお許し下さい。